

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 4 月 10 日作成)

委員会名	劇場・ホール小委員会	主 査 名：勝又 英明
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：服部 岑生
設 置 期 間	2000 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>「音楽空間への誘い」の出版 劇場・ホールに関する知見を一般市民に伝える。 文化施設としての劇場・ホールのプログラムの見直しを行う。 劇場・ホールの見学会の開催</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>勝又英明(武蔵工業大学)、浦部智義(東京電機大学)、大月淳(名古屋大学)、青池佳子(オズ・インターナショナル)、井口直己(井口直己建築設計事務所)、上西明(上西建築都市設計事務所)、小川清則(鹿島建設)、川口和英(鎌倉女子大学)、草加叔也(空間創造研究所)、斎藤義(環境デザイン研究所)、坂口大洋(東北大学)、阪田弘一(京都工芸繊維大学)、佐藤慎也(日本大学)、戸田直人(シアターワークショップ)、永井久夫(竹中工務店)、長谷川祥久(香山壽夫建築研究所)、幸和紀(武蔵工業大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>「ホールの地域計画研究」WG：市民のための地域計画としての劇場・ホールの計画方法を体系付けていくためと地域計画の中の劇場・ホールというビルディングタイプの再編を検討するための調査研究を行う。さらに、これらの作業を行うために、市民のための劇場・ホールの基礎知識の整理と劇場計画研究のアーカイブ作成のための作業を行う。最終的には出版につなげる予定である。</p>	
2003 年度予算	114,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>2002 年 12 月に可児市文化センターの見学会を実施。 2002 年 12 月に鹿島出版会より「音楽空間への誘い」を刊行。 2002 年 4 月～2003 年 11 月までに小委員会内で勉強会を 9 回実施。 2002 年 4 月～2003 年 11 月までに小委員会内で劇場見学会を 3 回実施。 小委員会においては、出版企画、シンポジウムなどについて検討。</p>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2002 年 12 月鹿島出版会より「音楽空間への誘い」を出版</li> <li>・2003 年 2 月 可児市文化センター見学会を実施</li> <li>・小委員会内で、シンポジウムに向けての劇場のプログラム、ワークショップをテーマとし、レクチャーを 10 回開催した。</li> <li>・小委員会内で、上記と関連する見学会を 4 回行った。</li> <li>・出版企画についての打合せを行った。</li> <li>・来年度に予定しているシンポジウム(テーマは劇場のプログラムの再編)、見学会(北上、松本、川崎)の打合せを行った。</li> </ul>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>「音楽空間への誘い」の出版をすることができた。 劇場・ホールに関する知見を一般市民に伝えるための出版企画について打合せを継続して行った。次期への継続作業となった。 文化施設としての劇場・ホールのプログラムの見直しのためのシンポジウムのための研究会を行った。来期早々にシンポジウムを行う予定である。 劇場・ホールの見学会の開催を行った。</p>
その他評価すべき事項	特になし。